

しおかぜ

～第26号～

2019.3

基本理念

病める人とともに、和と向上心をもって、
総合的かつ継続的な地域医療の実現をめざします。

基本方針

1. 垂水市の中核病院として病診連携を充実し、地域に必要な救急医療から在宅医療まで24時間体制で提供します。
2. 垂水市の地域包括ケアの拠点として、保健・医療・介護・福祉を連携し、住民が安心して住み続けられるまちづくりに貢献します。
3. 鹿児島へのき地医療を支援するとともに、感染症および災害発生時には地域の拠点病院としての役割を果たします。
4. 患者の人権とプライバシーを尊重し、多職種が連携した患者中心のチーム医療に努めます。
5. 職員ならびに地域の医療従事者の教育に努め、医療の質を高めるとともに、鹿児島の医療人育成に貢献します。
6. 病院を健全経営し、地域住民に安定した医療を継続的に提供できるように努力します。

【目次】～CONTENTS～

- ◇消防避難訓練・災害机上訓練の実施について
.....P1
- ◇医療安全推進週間について.....P2
- ◇ゴールデンウィークの診療体制について・・P2
- ◇ご存知ですか？病気の知識.....P3～P4
- ◇新任医師・新入職職員紹介.....P5
- ◇イベント～病院の話題～.....P6
- ◇院内インターネットサービス開始のご案内・P7

消防避難訓練・災害机上訓練の実施について

2019年3月5日の午後から、年に2回以上の実施が定められている消防避難訓練と、当院で初めての災害机上訓練を実施しました。

消防避難訓練は、3階病棟下膳室付近において原因不明の火災が発生。第一発見者の看護師が初期消火に失敗したとの想定で実施。患者や付き添い者役となった職員を屋外に迅速に避難させました。

災害机上訓練は、14時15分に発生した南海トラフを震源とする地震に伴い、垂水市内で耐震性の低い住宅が倒壊し多数の負傷者が発生。垂水市消防本部より負傷者の受入れ要請が入るとの想定で行いました。具体的には、災害発生時からの災害対策本部の設置・運営、初期対応（各部署の被害状況調査、本部への報告等）、各種イベントへの対応（行政機関との連絡調整、マスコミ対応等）、負傷者の受入れ（トリアージ、検査、入院対応、緊急手術、広域搬送等）について机上でシュミレーションしました。今回は、院内関係者50名が参加し、本番さながらの緊張感の中、皆、真剣に取り組んでいました。

当院では、今回の訓練で得られた反省点や課題をもとに、災害対策の見直しを行うとともに、いざという時に備えて、今後とも一層の改善に取り組んでいきたいと考えています。



医療安全推進週間について

「医療安全推進週間」は、患者の安全を守るため、すべての医療関係者が協働して医療安全に取り組むことを目的として、厚生労働省が位置付けた期間です。当院では毎年、医療安全推進週間（2018年度は11月25日～12月1日）に職員より「医療安全推進標語」の募集・最優秀賞等の決定を行っています。今年度は、121作品の応募作品の中から1位（最優秀賞）1作品、2位（優秀賞）5作品が選ばれました。

順位	標語	部署
1位（最優秀賞）	「なんか変」 いつもと違う 気づきの目！	2階病棟
2位（優秀賞）	言ったつもり 見たつもり つもり積もれば事故のもと	2階病棟
2位（優秀賞）	気をつけて どこかに潜む ひょっこりはん	3階病棟
2位（優秀賞）	その場だけ 繕う心に せまる事故	事務部
2位（優秀賞）	確認は 「だれか」 じゃなくて 「自分」 から	事務部
2位（優秀賞）	危険です 慣れと油断と 気の緩み	事務部

ゴールデンウィークの診療体制について

2019年度のゴールデンウィーク（大型連休）は、新天皇の即位の日である5月1日が祝日扱いとなり、併せて祝日法に基づき、4月30日（火）と5月2日（木）が休日となるため、4月28日から5月6日まで9連休となります。

当院では、治療継続の必要性や地域医療の確保という観点から、4月30日（火）と5月2日（木）については、通常通り外来診療を行います。

4月28日（日）		休診日
4月29日（月）	昭和の日	休日当番医
4月30日（火）	国民の休日	★通常診療
5月1日（水）	即位の日	休診日
5月2日（木）	国民の休日	★通常診療
5月3日（金）	憲法記念の日	休日当番医
5月4日（土）	みどりの日	休日当番医
5月5日（日）	こどもの日	休日当番医
5月6日（月）	振替休日	休診日

※休診日については、救急診療が必要な体制は整えています。

1.アレルギー性鼻炎とは？

風邪をひいたわけでもないのに「くしゃみ、鼻水、鼻づまり」に悩まされ、集中力が落ちて日々の仕事にも差し支える、そんな人の多くが病院へ行くと「アレルギー性鼻炎」といわれます。

アレルギー性鼻炎は、年間を通して起こる「通年性」と一定の季節に限って起こる「季節性」の2種類に分けられます。

「通年性」の主な原因はハウスダストですが、中でも多いのはダニです。ダニ以外の原因には猫や犬などのペットが知られています。

「季節性」のほとんどはスギやヒノキ、ブタクサなどの花粉が原因です。ハウスダストやスギ花粉など、アレルギーを起こす原因物質を「アレルゲン」といいます。アレルゲンが鼻に入ると、アレルゲンの侵入を防ぐかのように鼻がつまります。また、くしゃみや鼻水という症状でアレルゲンを体の外に追い出します。

このように、アレルギー性鼻炎は体にアレルゲンが入らないようにする一種の防御反応として起こっていると考えられます。



2.主な症状は？

アレルギー性鼻炎の症状は、1日に何度も繰り返すくしゃみと、水のように流れる鼻水、鼻づまりが特徴です。

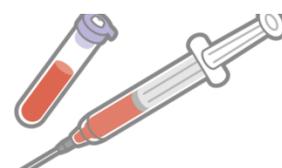
これらの症状は、鼻の粘膜に存在する肥満細胞と呼ばれる細胞から、ヒスタミンやロイコトリエン、トロンボキサンという化学伝達物質が放出されることで起こります。ヒスタミンは鼻の神経を刺激してくしゃみ・鼻水に、またロイコトリエンやトロンボキサンなどは血管を刺激して鼻づまりに関係していると考えられています。



3.アレルギー性鼻炎の検査は？

検査は、まず鼻炎の症状がアレルギー性かどうかを調べます。検査には問診、鼻鏡検査、血液・鼻汁好酸球（びじゅうこうさんきゅう）検査などがあります。また、アレルギー性であれば何が原因になっているかを検査します。

検査には、皮膚テスト、血清特異的 IgE 抗体検査、鼻粘膜誘発検査などがあります。血清特異的 IgE 抗体検査は、採血をしてアレルギーと関係する IgE という抗体がどんな種類のアレルゲンと結びつくかを調べるものです。スギ花粉がアレルゲンであればスギ花粉に対し「陽性」というように結果が出ますが、陽性だからといって必ずそれがアレルゲンとは限らない場合があり、問診で得られた情報などと組み合わせて診断します。

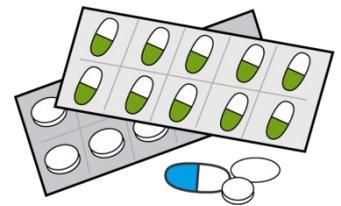


4.アレルギー性鼻炎の治療は？

【薬物療法】

■抗ヒスタミン薬(抗アレルギー薬)

最も一般的に使用されている薬剤です。ほとんどのお薬では長期投与の安全性も確認されています。ただ、効果があらわれるのに1週間くらいかかることがあり、眠気、集中力の低下、のどの渇きなどの副作用があらわれることがあります。



■血管収縮剤

多くの市販の点鼻薬に含まれている成分です。速効性があり鼻づまりに対して良く効きますが、長期間使うと効き目が少なく、効果の持続も短くなります。また、長期使用では、薬物性鼻炎と呼ばれる薬が効きにくい高度の粘膜の腫れがおこります。短期間の使用に限定すべきと考えます。



■ステロイド点鼻薬

効果が強く、効き目が早いといった特徴があります。副腎皮質ホルモンを含んでいますが、多くは粘膜で吸収されるために全身的な副作用はほとんどないとされています。ただ、人によっては点鼻そのものが刺激となって症状がでる場合があります。

【減感作療法】

根本的な治癒、すなわち体質改善が見込める唯一の方法で、原因となっている抗原を段階的に量を増やしながら体に投与していく方法です。

週に1~2回の注射を少なくとも半年から1年間続ける必要があること、複数の抗原にアレルギーがある場合は施行困難なこと、皮膚の発赤、痒みなどの局所の副作用以外にもまれながら全身性のショックなど高度の副作用が起こるなどの問題があります。有効率は70%前後とされています。

【手術療法】

レーザー手術、電気凝固法、凍結手術などがあります。高度なアレルギーでは、粘膜を切除する手術や鼻腔の通気を改善する手術、鼻水を止める神経切除術などがあります。

【アレルゲンの除去と回避】

■室内ダニの除去

ハウスダストが原因となる場合、その大部分は室内ダニです。室内ダニが生息しにくい清潔な環境をつくるのがアレルゲンの除去になります。



■スギ花粉の回避

スギ花粉がアレルゲンの場合、花粉情報に注意し、飛散の多い時期はできるだけ外出を控えます。外出時には花粉防御用のマスクや眼鏡を使用し、帰宅時は衣服や髪から花粉を払い落とします。入室したら、必ず手洗い、うがい、洗顔をしましょう。

新任医師紹介



眼科

まつした ゆうすけ
松下 裕亮

10月からお世話になっております。地域での臨床や手術の技術を身に付け、お役に立てるよう努力しますので宜しくお願い致します。ところで、眼科掲示板に趣味の写真を貼っています。御笑覧頂ければ幸いです。



新入職職員紹介

3階病棟／看護師
堤田 敬子



9月より入職させて頂きました。電子カルテに奮闘の毎日ですが、一日も早く患者さんのお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いします。

3階病棟／看護師
栞山 智春



12月からお世話になっています。初めてのことも多く、戸惑うこともあります。頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

外来／看護師
森下 いくよ



慣れないことも多く、皆様に日々助けて頂いています。患者さんや皆様のお役に立てる様、頑張りたいと思っています。よろしくお願いします。

予約受付時間のご案内

月～金曜日	土曜日
14:00～17:00	8:30～12:30

※当院では全診療科予約制です。

※当日の診療に関するご相談や当日の予約時間変更に関するご連絡は、8:30から受付けています。

イベント ～病院の話題～

おはら祭り夜まつり



2018年11月2日に開催された、第67回おはらまつり夜まつりに、垂水中央病院と介護老人保健施設コスモス苑の職員が踊り連として参加しました。

今年は、明治維新150周年を記念した企画もあり、NHK大河ドラマ「西郷どん」の出演者が登場すると、大きな歓声が湧いていました。夜まつりには色鮮やかな衣装をまとった87連約8,000人が軽快に練り歩き、沿道の観客も手拍子で盛り上げていました。

合同忘年会



2018年12月14日に、バイサイドホテルアザリアにて「垂水中央病院・介護老人保健施設コスモス苑合同忘年会」を開催しました。

まず初めに、来賓の方々から1年間の労をねぎらうお言葉を頂き、その後は、各部署から多数の余興や親睦会による抽選会などで大いに盛り上がりました。忘年会には毎年、各部署から多くの職員の参加があり、職員同士の親睦を深める素敵な忘年会を今年も開催することができました。

医療講演会



2月21日垂水市民館で行われた「糖尿病重症化予防教室」にて、大重剛志医師（内科）が糖尿病についての医療講演を行いました。

糖尿病は患者の増加が著しい疾患であり、病気が強く疑われる者は、約1000万人と推計されています。糖尿病になっても自覚症状がないことが多く、長期に血糖値が高い状態が放置されると、様々な合併症を引き起こす病気です。重症化予防には、生活習慣の改善や、かかりつけ医による早期発見、早期治療がとても重要であると呼びかけました。

院内インターネットサービス開始のご案内

当院では、患者・来訪者が無料で利用できる、院内インターネットサービスの提供を開始しました。利用場所が1階外来待合場所の周辺に限定されますが、お手持ちの無線LAN機能を持つパソコン・スマートフォン・タブレット等でインターネットがご利用いただけます。
※ご利用の際は、利用者ご自身で設定をお願いします。



■利用場所

1階/外来待合場所周辺（主に耳鼻科・眼科・外科・整形外科・受付窓口周辺）

■無線環境

Wi-Fi(IEEE802.11n/g/b準拠)機能の付いた機器
SSID: DoSPOT-FREE

■接続時間

1日最大60分（15分×4回）

■接続方法

- ①「DoSPOT-FREE」に接続（各端末のWi-Fiネットワーク画面から選択）
▼
- ②ブラウザを起動し、利用規約に同意する
▼
- ③メールアドレスを入力して接続をクリックし、ご利用スタート！

■注意事項

機器からの音声などについては、イヤフォン等を利用するなど他の方のご迷惑にならないようにご使用下さい。

垂水市立医療センター 垂水中央病院

〒891-2124

鹿児島県垂水市錦江町1番地140

TEL: 0994-32-5211 FAX: 0994-32-5722（総務課）

0994-32-5230（医事課）

【E-mail】 tarumizuhp@tarumizumh.jp

【URL】 <http://tarumizumh.jp>